

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国際科学技術センター(ISTC)拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	軍縮不拡散・科学部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度開始		担当課室	国際科学協力室		室長 菅宮 真樹		
会計区分	一般会計		施策名	VII-1 国際機関等を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令(具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	旧ソ連諸国において大量破壊兵器の研究開発に従事した科学者・技術者を平和目的の研究開発プロジェクトに従事させる事業を支援しているISTCへの拠出により、潜在的な危険国及びテロ組織への大量破壊兵器関連技術の拡散を防止する国際的な取り組みに貢献する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	旧ソ連の崩壊後、大量破壊兵器の研究開発に従事する科学者・研究者の国外流出防止とロシアの市場経済化促進が西側諸国の大きな関心事となった。潜在的な危険国やテロ組織に大量破壊兵器関連技術が流出すると、地域の平和と安定のみならず、世界全体の脅威となる。現在もこの脅威が残存し、技術拡散への警戒を解くことはできないことから、旧ソ連時代の大量破壊兵器関連技術をエネルギー、環境技術、医療技術、電子工学、コンピュータ、新素材、航空・宇宙等の民生技術に転換する事業に充当し、これらの事業を行う上で不可欠なISTC事務局運営経費を賄う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	102	95	70	61	49	
		繰越し等	0	0	0	—		
		計	102	95	70	61	49	
	執行額	102	95	70				
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	設立以来、ISTCは約2800件のプロジェクトを実施を通じて、8万人超の旧ソ連の科学者・技術者を支援することにより、大量破壊兵器関連技術の拡散を抑制されているほか、旧ソ連諸国の研究開発に関する透明性の向上と信頼醸成にも貢献している。			新規プロジェクト数	79	63	52	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成22年(度)において172名の職員からなる事務局は、科学者・技術者を従事させる平和目的の研究開発プロジェクト等の管理・調整等を行い、頭脳拡散の防止に寄与している。			職員数	199	177	172 (172)	— (122)
単位当たりコスト	4,168千円(716,956千円/172名)		算出根拠	事務局運営費 ÷ 事務局職員数				
平成23年度(単位:千円)内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	国際機関等拠出金		60,819	48,518	拠出額減額			
計		60,819	48,518					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>ISTCへの拠出は、旧ソ連諸国からの大量破壊兵器関連技術の拡散防止に大きな役割を果たし、国際的な取り組み、特に、G8グローバル・パートナーシップの重要な一要素として本件事業は高く評価されている。一方、ISTC設立当時から、ロシア等旧ソ連諸国をめぐる国際環境は変化してきており、ISTCの改編につき他国とともに検討する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		拠出額減額	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(拠出額減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			